

決算特別委員会

1663万7千円

結婚新生活等支援事業

- Q 岩手県で実施しているi- サポ岩手結婚サポートセンターにおける花巻市民の利用実績と成果を伺う。
- A 会員数は令和6年度県全体で950人であり、成婚された方は25組である。市単位での人数の公表は控えてほしいとの回答をいただいているが、当市登録者数における成婚の割合は9.1%である。

104万3千円

自主防災組織支援事業

- Q 昨年度の県総合防災訓練には、自主防災組織や消防団等も参加したが、どのような課題があったか伺う。
- A コミュニティセンターや振興センター等での避難訓練や、福祉施設等の避難訓練・ペット避難訓練を実施したが、障がい者組織の方との横の連携が課題であったため、普段から連絡をとり、連携を深めていく必要がある。

57万8千円

介護人材確保事業

- Q 介護人材の不足がいわれているが、介護の仕事や魅力を紹介するセミナーを開催しての成果を伺う。
- A 小中高生を対象としたセミナーや奨学金の返還支援、介護職員の家賃補助事業を行っており、令和6年度は中学校3校、高校2校で生徒256人が受講、好評をいただいている。介護人材の確保に早急に繋がるというわけではないが、人材を育てていくことに意味がある事業である。

584万円

職業人材育成・確保対策事業

- Q 市内企業の人材確保促進に向けた各種取り組みをしているが、この成果と課題について伺う。
- A 昨年度のセミナーは中途採用、高卒の採用、魅力発信、人材定着の観点から実施した。セミナー終了後、フォローアップとして講師と企業がオンラインで相談できるようにしたことから満足して頂いたと考える。

4億7570万8千円

感染症予防対策事業

- Q 令和6年7月1日から始めた50歳以上の带状疱疹ワクチンの接種状況を伺う。
- A 令和6年度で50歳以上の市民を対象に一生に1回助成するもので、生ワクチンの場合は4000円を1回、不活化ワクチンの場合は1万円を2回まで助成するものであり、対象者5万1168人のうち接種者は5719人、接種率は11.2%である。

258万8千円

水産多面的機能発揮対策事業

- Q 淡水漁業推進事業補助金について、どのような種類の稚魚が、どの程度放流されたのか。またカワウやサギなど鳥類に捕食される場合やダムでの放流による稚魚の減少があるか伺う。
- A 3漁業組合に鮎、ヤマメ、イワナの3種類で、合計2040kgに対して支援した。稚魚の減少について、そのような声は届いていない。

一般質問

■視覚障がい者の方の投票支援について



みやざわ ゆかり 議員

Q 弱視の方に配慮した投票補助具の導入について伺う。

A 一部の自治体では、投票用紙に自筆する枠がわかりやすくなるよう、記入する枠が切り抜かれたプラスチック投票用紙記入補助具が導入されている。弱視の方や視覚障がいの方が候補者名を正確に記入できるよう、負担軽減の効果が期待されるものである。視覚障がい者の方々の投票をサポートする観点からまずは、期日前投票所へ補助具を配置する。

■子育て支援について



Q 授乳室での搾乳マーカーの導入について伺う。

A 授乳室において搾乳する場合、赤ちゃんを連れないと場合によっては不審がられることもあり、利用しにくい方もいる。神奈川県ではNPO法人と連携しながら「搾乳マーカー」を作成しており、趣旨に沿った目的であれば自由に使用できることとしていることから、本市でも公共施設にある授乳室に表示することについて取り組んでいく。

決算特別委員会 令和6年度各会計決算を認定

1億530万6千円

振興センター等整備事業

- Q 振興センターの老朽化による大規模改修・整備やトイレの改修工事が行われているが、全体でどの程度の改修工事が終了しているのか伺う。
- A 全体的には大規模な修繕は一旦終了したと考えているため、今後必要に応じて小規模な修繕がある場合は取り組んでいく。

審議の様子はこちら



9月26日



9月25日



9月24日



笹間振興センター